

## 6. ごみ減量への手順

ごみ減量・再資源化の推進に向けて、各職場に合ったシステムをつくりましょう！

### 1. ごみ減量・再資源化のための組織作り

- 各部署から担当者の選出

### 2. 現状把握

- ごみの種類・量の把握
- 資源化・処理状況の把握
  - ◆ごみ保管場所に集められたごみの内容調査をする。
  - ◆毎回計量する。困難な場合は一定期間計量を行い、推計する。
  - ◆資源化・処理状況は契約している廃棄物処理許可業者に確認する。

### 3. 発生抑制と再資源化の検討

- 発生抑制が可能なものはないか研究
- 再資源化が可能なものはないか研究
  - ◆まず各職場に合った「ごみを減らす方法」を考える。
  - ◆発生したごみの再資源化については廃棄物処理許可業者とよく相談し、できる限り再資源化の方法を考える。

### 4. ごみ減量・再資源化計画の作成

- 資源化物の品目決定や分別方法の決定
- 資源化物や廃棄物の保管場所の整備
- ごみ減量化・再資源化の目標値の設定
- 廃棄物処理許可業者と契約の確認・見直し
  - ◆業者との契約は、分別区分、収集回数、場所、料金等をよく相談し、ごみ減量化・再資源化に協力を得ること。

### 5. 社員、従業員への計画の周知

- 分別の種類、方法の周知徹底
- 社員、従業員の役割の周知徹底

### 6. 計画の実行

### 7. 問題点の抽出・システムの改善